

別紙 ワンバウンドふらばーるバレーボール競技規則

第1章 コート及びボール

- (1) コートはバドミントンコート（13.4m×6.1m）を使用する。
- (2) ボールは、ふらばーる（大）60cmを使用する。
- (3) アンテナは、支柱の外側に巻く。

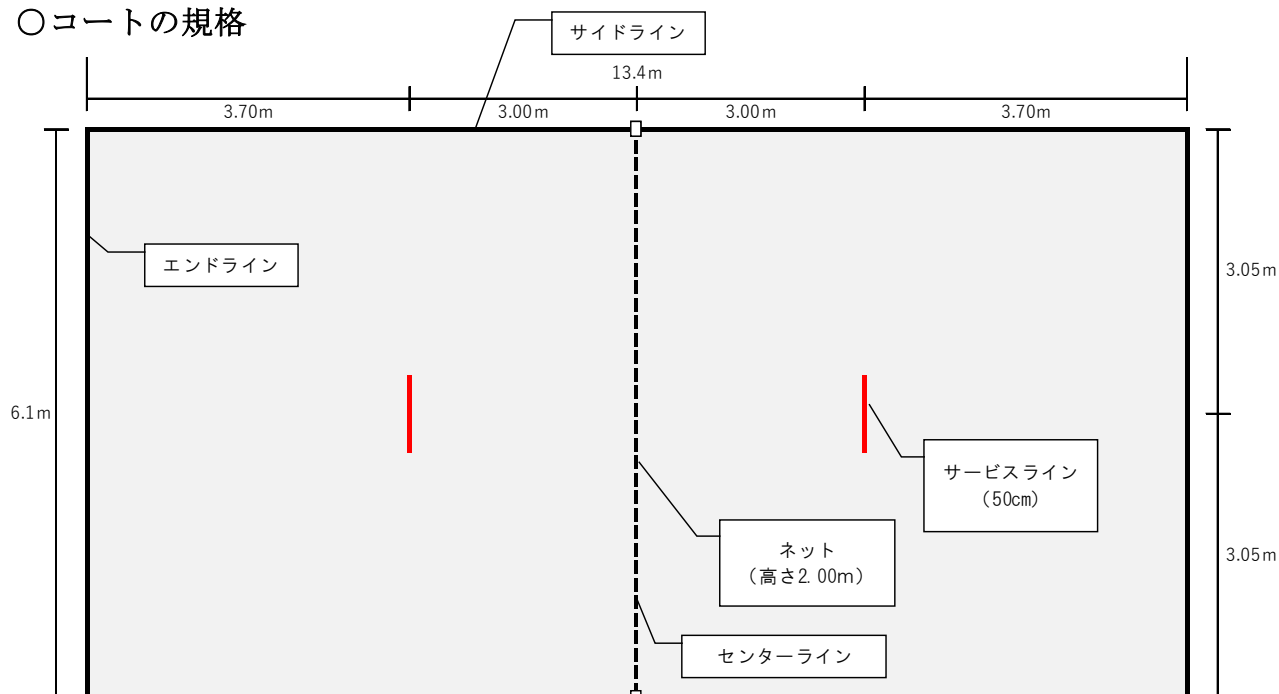
第2章 方法

- (1) サービスは、コート中央のサービスライン（50cm）より後方で打つものとする。
- (2) サービスは、1回とし、相手方のコート内をセーフとする。ただし、ネットにふれた場合は、アウトとする。
- (3) サービスは片手アンダーハンド（腰から下でヒットする）とする。
- (4) サービスする腕が横振りになったり、故意でなく回転したサービスとなった場合、一度目は主審の判断で注意としてサービスの打ち直し（ノーカウント）とし、二度目から反則（相手の得点）とする。
- (5) サブブレイブは、床にワンバウンド後ブレイブし、その後ノーバウンドで相手コートに計3回以内で返す。また相手コートから帰ったボールも必ずワンバウンド後にブレイブし、その後ノーバウンドで計3回以内で返す。ただし、ワンバウンドしたボールがネットに触れた時は、ネットを離れて床に着く前にブレイブする。
- (6) 3回で返す場合は、必ず異なる3人の手を経て相手コートに返す。ただし、3回目にボールがネットに触れて自コートに来た場合に限り、あと1回のプレーが許される。この時4回目に触るのは誰でもよい。
- (7) ドリブル、ホールディングは、極端なもの以外は反則としない。ただし、タッチネットは反則とする。
- (8) 危険防止のため、足を使ったブレイブは禁止とする。
- (9) ジャンプしてのアタックは禁止とする。
- (10) 得点はラリーポイント制（1セット15点、14対14の場合2点差がつくまで続行するが17点で打ち切り）
- (11) 1試合は3セットマッチとし2セット先取した方を勝者とする。
- (12) 他の試合球がコートに入った場合、安全のため主審の判断で試合を中断するもの（ダブルファール）とし、得点はノーカウントとする。

第3章 その他

- (1) この規則にないものは、日本バレーボール協会制定の「ソフトバレーボール競技規則」に準じて行う。

○コートの規格



○サービス及びローテーション

